

いちほまれ情報 No.5

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、福井米戦略課、JA中央会、JA経済連、主要農作物振興協会）

気象庁によると、**来週の気温も高い**予報です。
また、**台風**が発生しています。
連休移植は、来週に**幼穂形成期**となる見込みです。

[今後の管理]

- ・ **間断通水**を行いイネの活力を維持しましょう。
- ・ **台風通過時**はフェーンによる高温対策のため、できるだけ**深水**にしましょう。
- ・ 中期深水管理を実施しているところは、7月上旬で終わらしましょう。
- ・ 分施肥栽培では穂肥の準備をしましょう。
- ・ ニカメイガの多発地帯や心枯れが発生しているところは適期に防除しましょう。

週間天気予報 (7月1日 11時発表 福井地方気象台)

日付	今日 01日(金)	明日 02日(土)	明後日 03日(日)	04日(月)	05日(火)	06日(水)	07日(木)
福井県	晴	晴後時々曇	曇時々晴	曇	曇一時雨	曇	曇時々晴
降水確率(%)	-/10/10	0/0/20/20	40	40	50	40	40

台風情報 (7月1日 9時発表 気象庁)



○農業試験場の生育



5/2 移植



5/20 移植



5/12 播種 直播

○ニカメイガの防除

本年の防除適期は、
粒剤が7月3半旬、
粉剤・液剤は7月4半旬です。



心枯れ



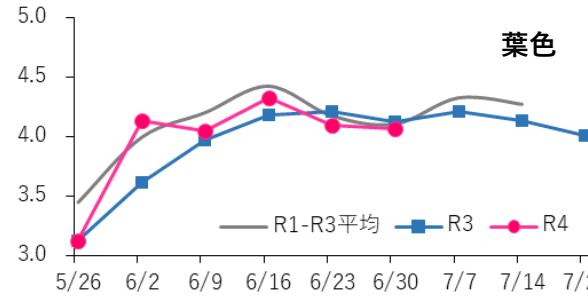
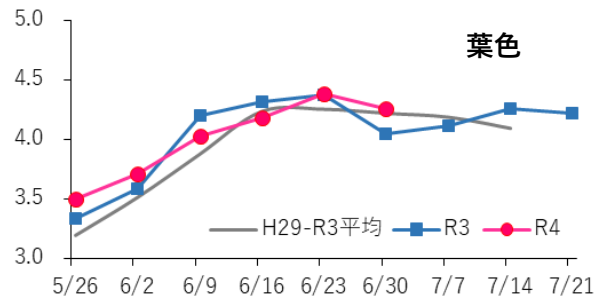
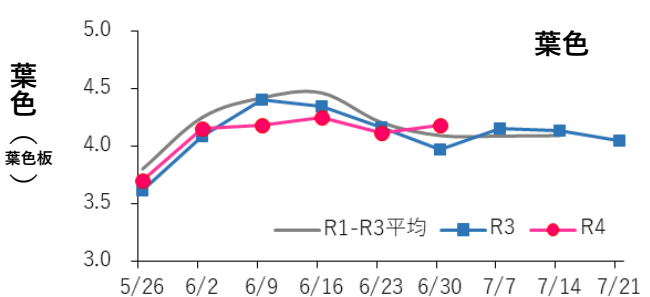
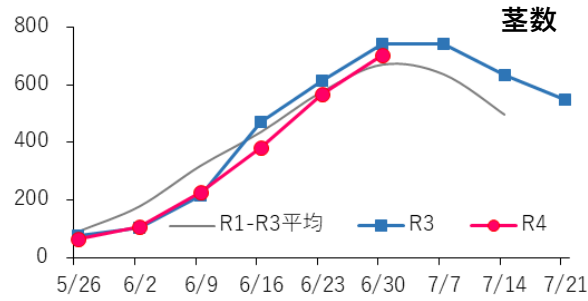
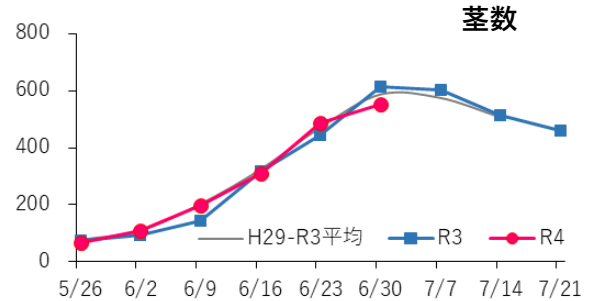
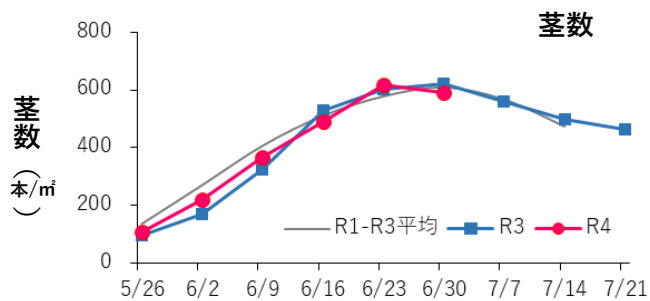
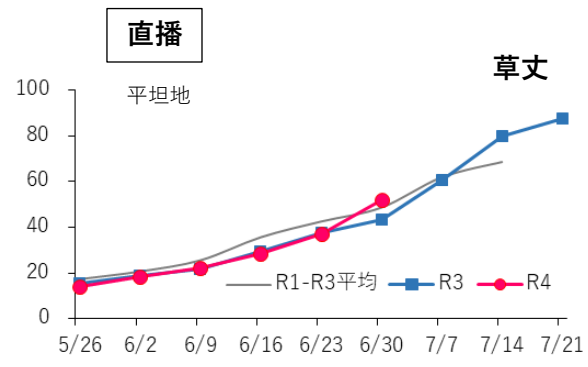
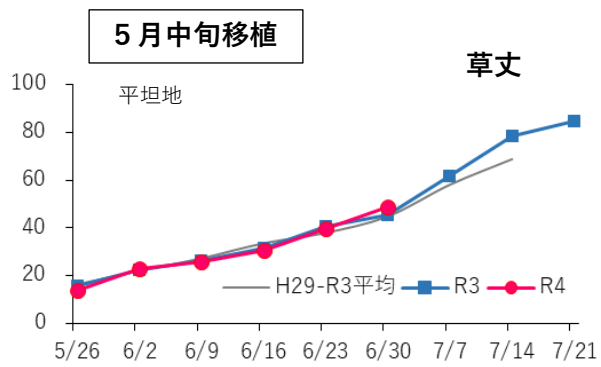
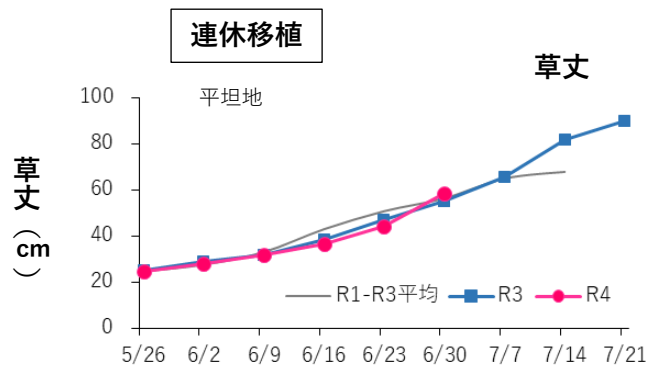
成熟期
被害が大きいと枯れる

ニカメイガの被害

○1ヵ月予報 (6月30日 14:30発表 新潟地方気象台)

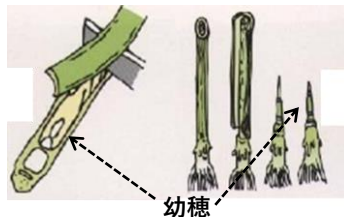
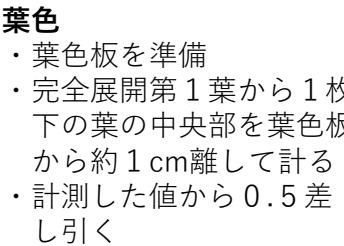

		気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	北陸地方	向こう1か月 07/02~08/01	10	40	50
		1週目 07/02~07/08	10	20	70
		2週目 07/09~07/15	20	30	50
		3~4週目 07/16~07/29	20	40	40
降水量	北陸地方	向こう1か月 07/02~08/01	40	40	20
		日照時間	20	40	40
			低い(少ない)	平年並	高い(多い)

畦畔草刈り実践デー **2回目 7月2日(土)、3日(日)**
地域ぐるみの草刈りでカメムシの生息場所を減らしましょう。



栽培方法	平坦地				山間地		
	連休移植	中旬移植	直播	特別栽培移植	中旬移植	直播	特別栽培移植
地点数	6	7	9	9	2	1	1
草丈 cm	58.4	49.0	52.1	44.8	53.9	41.4	42.6
茎数 本/m²	592	552	704	399	580	520	339
葉色 葉色板	4.2	4.3	4.1	4.2	4.0	4.5	4.0

穂肥基準

栽培区分	内容	幼穂長と葉色の確認方法													
特別栽培①③ 無化学肥料栽培 [有機100%]	分施栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出穂30日前（5月15日移植なら7月5日頃）に葉色に応じて施用 ・ 有機100%の肥料を使用 ・ 2回目の施用時期は1回目の10日後 <table border="1" data-bbox="1067 199 1585 435"> <thead> <tr> <th rowspan="3">葉色</th> <th colspan="2">窒素量 (kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> </tr> <tr> <th>出穂30日前</th> <th>1回目の10日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4.5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	葉色	窒素量 (kg/10a)		1回目	2回目	出穂30日前	1回目の10日後	4.0	3	2	4.5	2	2	幼穂長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1株の中で最も長い葉の茎を根元からとる ・ 中心部分をカッターで切るか、葉鞘を丁寧に剥く ・ 幼穂の長さを計る <p>カッターで切る場合 葉鞘を剥く場合</p> 
葉色	窒素量 (kg/10a)														
	1回目		2回目												
	出穂30日前	1回目の10日後													
4.0	3	2													
4.5	2	2													
特別栽培②④ 減化学肥料栽培 [有機50%]	基肥一括施肥栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼穂長1mm（5月15日移植なら7月10日頃）のときに葉色が4.0未満なら窒素成分で2kg/10a追肥 ・ 有機100%の肥料を使用 <table border="1" data-bbox="1067 514 1585 656"> <thead> <tr> <th rowspan="2">葉色</th> <th>窒素量 (kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>幼穂長1mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~4.0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 分施栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼穂長1mm（5月15日移植なら7月10日頃）のときに葉色に応じて施用 ・ 有機50%の肥料を使用 ・ 化成肥料の窒素施用量が5kg/10aを超えないこと <table border="1" data-bbox="1067 721 1585 913"> <thead> <tr> <th rowspan="2">葉色</th> <th>窒素量 (kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>幼穂長1mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4.5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	葉色	窒素量 (kg/10a)	幼穂長1mm	~4.0	2	葉色	窒素量 (kg/10a)	幼穂長1mm	4.0	5	4.5	4	 <p>幼穂</p> 葉色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 葉色板を準備 ・ 完全展開第1葉から1枚下の葉の中央部を葉色板から約1cm離して計る ・ 計測した値から0.5差し引く 	
葉色	窒素量 (kg/10a)														
	幼穂長1mm														
~4.0	2														
葉色	窒素量 (kg/10a)														
	幼穂長1mm														
4.0	5														
4.5	4														
エコ栽培 [有機20%]	基肥一括施肥栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準量を施用しているときは追肥しない 分施栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼穂長1mmのときに葉色に応じて施用 ・ エコ肥料を使用 <table border="1" data-bbox="1067 1042 1585 1278"> <thead> <tr> <th rowspan="3">葉色</th> <th colspan="2">窒素量 (kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> </tr> <tr> <th>幼穂長1mm</th> <th>1回目の7日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4.5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	葉色	窒素量 (kg/10a)		1回目	2回目	幼穂長1mm	1回目の7日後	4.0	3	2	4.5	2	2	
葉色	窒素量 (kg/10a)														
	1回目		2回目												
	幼穂長1mm	1回目の7日後													
4.0	3	2													
4.5	2	2													